

## 周南医療圏地域医療構想調整会議病床機能検討部会（平成29年度第1回）議事概要

【日時】平成29年7月13日（木）15:30～16:45

【場所】山口県周南総合庁舎703会議室

【出席者】郡市医師会関係者、病院・有床診療所関係者 等

- 地域における回復期機能の現状及び課題について、各医療機関の立場から現状・課題の報告を行った
- 回復期機能については、概ね充足しているとの認識であったが、各医療機関にアンケート調査を実施し、実態について詳細に把握することとした

## 【議事内容】

## 1 平成28年度病床機能報告の結果について（報告）

事務局より本年度の病床機能検討部会の進め方について説明の上、平成28年度の病床機能報告結果を報告し、今後の部会において活用願いたい旨の説明を行った。

（主な意見・質問等）

1 医療機関から病床機能報告の訂正の申し出があった。

## 2 病床機能報告に係る課題について（報告）

事務局より医療機能の定義と留意事項、国の検討状況等の説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

## 3 周南圏域アンケートの結果について（報告）

事務局より施設整備等の予定、療養病床の転換の予定、地域包括ケア病棟の運用の状況等に係るアンケート結果について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

## 4 回復期機能の確保について

## (1) 周南圏域の各病院での回復期機能の現状・取組みと状況について（意見交換）

管内の回復期病床を有する病院からの報告及び急性期病院からの意見があった。

## ア 受入れ患者の状況

多くの病院は、自院または他院での急性期の診療を終えた患者の受入れが主であったが、一部、在宅・施設からの受入れ割合が多い病院もあった。

受入患者数の主体について、自院からと他院からの報告病院数の割合は、1対2程度であった。

## イ 回復期機能の現状

すべての病院で相当程度のリハビリが行われていた。

いくつかの病院からは、在宅・施設からの入院についての説明があった。

退院支援のための取組（チームによる取り組み、入院直後の早期からの取組、退院後の支援（訪問リハビリ等）など）が多く説明された。

## ウ 回復期医療機関と急性期医療機関との連携

急性期機能を持たない医療機関において、多くの患者に基礎疾患（呼吸器疾患、循環器疾患など）があるが、自院の対応はある程度限られるため、急性期病院との更なる連携が必要との意見があった。

急性期病院からは、急性期機能の円滑な運営を行えるよう、連携（転院の受入れ）の継続を求める意見があった。

### (2) 回復期機能への転換についての支援について（情報提供）

事務局より、医療機能分化連携推進事業について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

## 5 その他

### (1) 慢性期機能からの転換関連(介護医療院に関する資料)について(情報提供)

事務局より「介護医療院」の概要について説明を行った。

また、県医師会が実施した慢性期病床の転換に係るアンケート調査の結果について、次回以降の検討部会において、説明を行う旨伝えた。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

### (2) 回復期機能に関するアンケートについて（依頼）

9月20日までの回答を依頼した。